



信州青木村ふるさと景観100選

田植えと田楽太鼓

AOKI 青木村 議会だより

第81号

令和3年5月1日発行



発行／青木村議会
編集／議会報編集委員会
印刷／(株)アオヤギ印刷

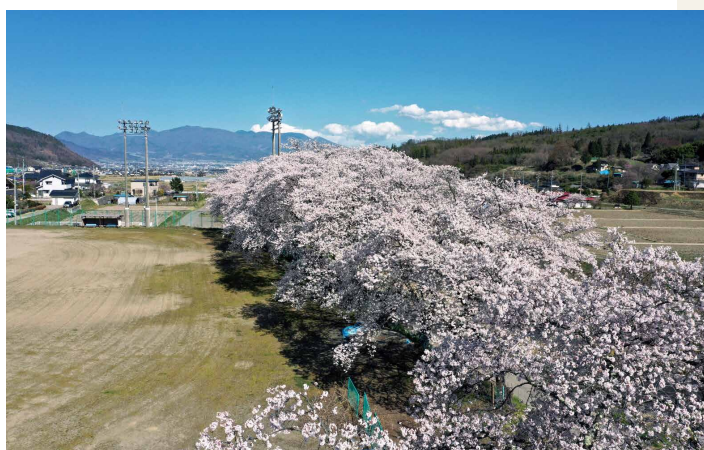
✉ gikai@vill.aoki.nagano.jp



<http://www.vill.aoki.nagano.jp/gikai2.html>



最終議会を終えて(2021年3月)



総合グラウンドの桜並木(ドローン撮影)

主な
記事

青木村議会だより
第81号

令和3年 第1回 定例会	2~4
常任委員会報告	5~6
本会議討論	7
一般質問	8~12
議会の動き	13
議会日誌・住民の声	14

令和3年

第1回定例会

令和3年第1回定例会が、去る3月5日に招集され22日までの会期で行われました。提出された案件は、条例制定・改正7件、指定管理者の指定5件、人事案件2件、上田地域広域連合ふるさと基金に係る権利の一部放棄、令和2年度一般会計補正予算、令和3年度一般会計・特別会計・企業会計予算と発議1件、陳情1件、追加日程で令和3年度一般会計補正予算が上程され、慎重審議の結果、すべての議案について原案のとおり可決され、陳情については採択されました。また、一般質問では5人の議員から村政に対する意見や質問がなされました。

村長あいさつ（要旨）

令和3年第1回青木村議会定例会に全議員のご出席をいただきありがとうございます。

まず冒頭に1月17日に急逝された堀内富治議員へのお悔やみを申し上げ、衷心より御冥福をお祈りいたします。

さて、現在我が国は新型コロナウイルス感染症と100年に一度あるかないかの未曾有の国難に直面しており、国民の生活や経済活動に

甚大な影響が及んでおります。

村民の皆さんの農業、商工業、観光業などは、極めて深刻な状況であります。村では「感染拡大防止」、「経済活動の維持」そして「健康と安全の確保」に努めてまいりました。引き

続き、「新型コロナウイルス感染症拡大防止」と「地域経済の活性化」の両立を図ってまいります。

感染防止対策の決め手と言われるワクチン接種につきま

しては、今のところ4月以降65歳以上の方々に集団で実施するために、準備に取り組んでおります。

先の12月定例会閉会後からの行事報告をさせていただきます。

青木村成人式が男性17名、女性14名の31名で開催されました。新型コロナウイルス感染症対策を徹底しての開催となりましたが、久しぶりの再会を喜び和やかな式典となりました。

した。新成人の代表から、家族や青木村の教育への感謝や、新たな決意が述べられました。

また、県外に出ている人からは、「離れてみて、家族や故郷のありがたみを感じた。」「村に帰って地域に貢献したい。」「など嬉しい言葉を聞くことができました。

青木村当郷区岡石工業地整備事業安全祈願・起工式が開催されました。工期は今年の11月29日までで、完成後は竹



岡石工業地整備事業現地視察

内製作所様に造成地を取得いただき、新工場を建設していただくことになっていきます。周辺の生活環境にも十分配慮して工事を進めてまいります。

今年度の主な事業の進捗状況について、総務課関係では役場庁舎をはじめ公共施設の防災関係事業が完成しました。建設農林課関係では令和元年度台風19号災害復旧事業、松くい虫対策等実施してまいりました。住民福祉課関係では第6期障害者福祉計画の策定など住民福祉対策を進めてまいりました。教育委員会関係では五島慶太未来創造館建設や小中学校の各種教育整備をしてまいりました。

コロナウイルス対策としては、国の第1・2次地方創生臨時交付金を活用した事業及び青木村が単独経費を追加し、総事業費2億8000万円で、3月末までには令和2年度分の全ての事業は完了する予定です。第3次分については現在内容を検討しており、4月からも実施できるよう準備しております。事業総額は、約2億8000万円で、子育て・教育・福祉関係では約7664万円、農業・商工業・地域経済対策では9892万円、生活環境・交通対策・インフラ

関係では1億261万円を予定しております。以上、令和2年度、新型コロナウイルス対策事業の概要であります。

上田広域連合の重要課題であります資源循環型施設建設の環境影響評価について、県と協議しながら年度内の作成を目指しており、広報・縦覧・住民説明会を予定しております。

広域消防の来年度事業で、川西消防署に高規格救急車の購入配備を予定しております。

今議会では、令和3年度予算を審議いただくことになっております。基本的には、村長選挙のため骨格予算といたします。来年度は、第5次青木村長期振興計画後期基本計画の最終年となります。地方創生総合戦略とあわせ「日本一住みたい村づくり」実現の目標達成に向けて編成いたしました。

一般会計当初予算は、前年度当初比7・0%減の27億3200万円で、歳入の主なもの、村税の減収を見込み3億5383万円、地方交付税は12億5470万円、国庫支出金については1億3807万円となりました。歳出の主なもの、新規事業等につきまして、各課に係る共済費負担金

は、会計年度任用職員の制度改正による増額となっております。以上が令和3年度当初予算の概要であります。

この予算編成を通じ改めて強く感じたことは村財政の厳しさであり、村の将来にわたる自主自立の村づくりであります。特にコロナ禍ということもあり、歳入歳出両方での配慮が必要でありました。以上冒頭の挨拶といたします。

議案

議案第1号

青木村一般職の任期付職員採用に関する条例について

専門的な知識や識見を有する者を任期を定め、職員として採用できるように条例を制定するものです。

議案第2号

青木村福祉医療費給付条例の一部を改正する条例について

精神障がい者2級の通院補助について、補助対象範囲を拡大するため改正するものです。

議案第3号

青木村介護保険条例の一部を改正する条例について

第8期介護保険事業計画に基づき、国から示された保険料算定により、令和3年度から令和5年度の保険料額を改正するものです。

議案第4号

青木村指定居宅介護支援等の事業の従業者及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について

議案第5号

青木村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

議案第6号

青木村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

議案第7号

青木村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

議案第4号から第7号ま

で、いずれも国の省令改正に伴い条例の一部を改正するものです。

議案第8号

リフレッシュパークあおきの指定管理者の指定について

指定管理者に「信州上小森林組合」を指定するもので、指定期間は4月1日から5年間です。

議案第9号

青木村くつろぎの湯の指定管理者の指定について

指定管理者に「社会福祉法人 青木村社会福祉協議会」を指定するもので、指定期間は4月1日から5年間です。

議案第10号

青木村老人福祉センターの指定管理者の指定について

指定管理者に「社会福祉法人 青木村社会福祉協議会」を指定するもので、指定期間は4月1日から5年間です。

議案第11号

青木村高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について

指定管理者に「社会福祉法人大樹会」を指定するも

ので、指定期間は4月1日から5年間です。

議案第12号

道の駅あおき及びふるさと公園あおきの指定管理者の指定について

指定管理者に「株式会社道の駅あおき」を指定するもので、指定期間は4月1日から5年間です。



議案第13号

教育長の任命について

村松区の杵掛英明氏が教育長に任命(再任)されました。任期は、令和3年4月1日から3年間です。

議案第14号

人権擁護委員候補者の推薦の同意について

任期満了に伴うもので、

次の方が候補者として推薦（再）され、議会の同意を得ました。
人権擁護委員推薦候補者
宮入典子氏（村松区）

議案第15号
上田地域広域連合ふるさと基金に係る権利の一部を放棄することについて

上田地域広域連合ふるさと基金に対する村出資総額3963万8千円のうち、令和3年度に実施する地域医療対策事業に充当するため、228万5千円の権利を放棄するものです。

議案第16号
令和2年度青木村一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ5036万2千円を減額し、総額を36億8374万2千円とするものです。歳入は基金繰入金7500万円の減、緊急防災減災事業債が5610万円の減、新型コロナウイルス接種体制確保事業費補助金320万1千円の増、道路メンテナンス事業補助金2213万7千円の増が主なもので、歳出は災害対策本部・指定避難所となる役場・保健センターの防災機

能向上のため空調設備、非常用発電機の更新工事の実績に伴い5900万円の減、新型コロナウイルス接種のためのコールセンターの設置、接種会場の整備、接種券の配布等に320万2千円、道路メンテナンス事業橋梁一斉点検・長寿命化計画策定業務4000万円が主なものです。

議案第17号
令和3年度青木村一般会計予算
議案第23号
令和3年度青木村特定環境保全公共下水道事業会計予算について

（下表参照）

一般会計予算の主な事業としては、長期振興計画・第2次公共施設整備計画の策定、固定資産課税客体調査（後期分）、青木診療所配管設備更新補助、保健事業・介護予防の一体的な実施、岡石工業地進入路改良実施設計、松くい被害拡大防止のための伐倒駆除、公民館改築補助などが計画されており、前年度当初予算比7.0%減の予算となりました。

発議第1号

青木村議会会議規則の一部を改正する規則について

議員活動のしやすい環境整備のため、議会への欠席事由に出生・育児・介護等を加える等の改正を行うものです。

陳情

陳情第1号

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書について

最低賃金の地域間格差をなくし、全国一律で1500円以上を目指すとともに、中小企業への支援策を適切に拡充する等の意見書を国に提出するよう求める陳情です。

追加日程

議案第24号

令和3年度青木村一般会計補正予算について

令和3年度に実施する新型コロナウイルス感染症対応の地方創生臨時交付金第3次分9683万2千円の増額と、新型コロナウイルス予防接種事業費2701万4千円の増額です。

※議案の議決結果はP6に掲載してあります。

令和3年度 当初予算 青木村一般会計・特別会計・公営企業会計予算

（R3年度）

（R2年度）

会 計 名		歳入・歳出予算額(千円)	対前年度増減率
一 般 会 計		2,732,000	－7.0%
特別会計	国民健康保険特別会計	546,623	0.0%
	別荘事業特別会計	16,366	－2.0%
	介護保険特別会計	554,666	－3.0%
	後期高齢者医療特別会計	66,802	3.1%
総合計		3,916,457	

歳入・歳出予算額(千円)	
2,938,000	
546,645	
16,699	
572,057	
64,804	
4,138,205	

会 計 名		予算額(千円)		対前年度増減率
公営企業会計	簡易水道事業会計	収益的支出	180,323	－11.8%
		資本的支出	86,377	10.7%
		計	266,700	－5.6%
	特定環境保全公共下水道事業会計	収益的支出	223,790	－9.9%
		資本的支出	199,630	5.7%
		計	423,420	－3.1%

予算額(千円)	
収益的支出	204,481
資本的支出	78,010
計	282,491
収益的支出	248,308
資本的支出	188,875
計	437,183

常任委員会報告

令和3年第1回定例会会期中の3月12日に社会文教委員会が、15日に総務建設産業委員会が開催され、各委員会に付託された令和3年度の予算について審議しました。

総務建設産業委員会

委員長 松澤 正登

総務建設産業委員会に付託された総務企画課・建設農林課・商工観光移住課関係の予算審議の委員長報告をします。

議案第17号 令和3年度青木村一般会計予算 の認定について

歳入では、固定資産税・住民税などの減額の要因、特別交付税交付金の算定方法、臨時財政対策債などについて質疑が出されました。また、歳出では、地域おこし協力隊の状況、デマンドバスの

運行状況、各種選挙に係る経費、農地中間管理機構の状況、松くい虫の被害状況、移住施策の取り組みや村営住宅の耐用年数などについて、多岐にわたり活発な質疑があり、村長はじめ担当職員から説明がありました。

令和3年度予算については、自主財源の少ない当村において、さらに新型コロナウイルス感染症の影響を受け、村税が減収見込みとなり、予算編成について苦慮されたことがうかがえる。令和3年度は、村長村議選

が予定されていることから、骨格予算ではあるが、村の抱える課題に対して、継続的な対策を促進するための予算編成となっており評価できる。今後も、地域や村民の要望に応えるため、限りある財源ではあるが、効果的な事業展開を望むとの賛成討論があり、全員賛成にて原案通り認定することに決定しました。

■賛成討論■

沓掛 計三議員

議案第19号 令和3年度青木村別荘事業特別 会計予算の認定について

転売の状況や適切な管理

について質疑があり、討論なく全員賛成にて原案のとおり認定することに決定しました。

議案第22号

令和3年度青木村簡易水道事業 会計予算の認定について

給水の能力や供給水量などについて質疑があり、討論なく全員賛成にて原案のとおり認定することに決定

社会文教委員会

委員長 居鶴 貞美

社会文教委員会に付託された住民福祉課・教育委員会関係の予算審議の委員長報告をします。

議案第17号 令和3年度青木村一般会計予算 の認定について

教育委員会関係では、小中学校に村費で配置予定のICT支援員や講師、五島慶太未来創造館の現状や今

しました。

議案第23号

令和3年度青木村特定環境保全 公共下水道事業会計予算の認定 について

浄化センターの処理能力について質疑があり、討論なく全員賛成にて原案のとおり認定することに決定しました。

後の予定について、質疑応答がなされました。

住民福祉課関係では、東京パラリンピック聖火フェスティバル関連経費、障害福祉各種助成事業、くつろぎの湯、青木診療所改修工事の内容、保険・介護一体化事業など各種保険事業の内容等について質疑応答がなされました。村予算額が減額の中で、民生費と衛生費は前年度より増額となっており、

くつろぎの湯高圧受電設備の更新工事、青木診療所配管更新のための補助金、保健事業・介護予防の一体化事業等村民の健康と命・暮らしを守る予算となっています。また、教育委員会関係では夫神区公民館改築補助金、埋蔵文化財試掘調査委託料、小学校雨漏り防止、廊下拡張工事、中学校オンライン教材経費、保小中自校給食の堅持等将来を見据えたメリハリのある予算と認められます。コロナ禍の難しい予算編成において鋭意精査され適正であるとの賛成討論があり、全員賛成にて原案どおり認定することに決定しました。

賛成討論

金井 とも子議員

議案第18号 令和3年度青木村国民健康保険特別会計予算の認定について

基金繰入金の減や基金の現状、事業費納付金、医療給付費の増、人間ドック、特定健康受診の見込み等について質疑応答がなされました。討論なく、全員賛成にて原案どおり認定することに決定しました。

案どおり認定することに決定しました。

議案第20号 令和3年度青木村介護保険特別会計予算の認定について

グループホーム（地域密着型サービス）の現状、介護予防・生活支援サービス事業費の増額について質疑応答がなされました。討論なく、全員賛成にて原案どおり認定することに決定しました。

議案第21号 令和3年度青木村後期高齢者医療特別会計予算の認定について

後期高齢者医療制度の展望について質疑応答がなされました。討論なく、全員賛成にて原案どおり認定することに決定しました。



議案の議決結果

○賛成 ●反対

議 案	宮入	坂井	松澤	金井	宮下	沓掛	居鶴	小林	堀内	山本	結果
議案第1号 青木村一般職の任期付職員の採用に関する条例について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第2号 青木村福祉医療費給付条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第3号 青木村介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第4号 青木村指定居宅介護支援等の事業の従業者及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第5号 青木村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第6号 青木村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第7号 青木村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第8号 リフレッシュパークあおきの指定管理者の指定について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第9号 青木村くつろぎの湯の指定管理者の指定について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第10号 青木村老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第11号 青木村高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第12号 道の駅あおき及びふるさと公園あおきの指定管理者の指定について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第13号 教育長の任命について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第14号 人権擁護委員候補者の推薦の同意について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第15号 上田地域広域連合ふるさと基金に係る権利の一部を放棄することについて	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第16号 令和2年度 青木村一般会計補正予算について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第17号 令和3年度 青木村一般会計予算について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第18号 令和3年度 青木村国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第19号 令和3年度 青木村別荘事業特別会計予算について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第20号 令和3年度 青木村介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第21号 令和3年度 青木村後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第22号 令和3年度 青木村簡易水道事業会計予算について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案第23号 令和3年度 青木村特定環境保全公共下水道事業会計予算について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
発議第1号 青木村議会会議規則の一部を改正する規則について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
陳情第1号 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	採択(全員一致)
議案第24号 令和3年度 青木村一般会計補正予算について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決(全員一致)

※議長は採決に加わりません。

本会議討論

議案第17号

令和3年度青木村一般会計予算について

賛成討論

金井 とも子 議員

令和3年度青木村一般会計予算について賛成の立場から申し上げます。

令和3年度予算は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国全体が先の見えない不透明な経済状態であり、また、青木村では村長・村議会議員の改選時期でもあり、骨格予算となつていきます。しかし、必要な事業は実施していかなければならず、難しい予算編成となつたことと推察します。

歳入については、新型コロナウイルス禍による村民税、固定資産税の減収など、自主財源が減少しております。その分、国からの交付税や臨時財政対策費などが増額されているもの

の、全体として厳しい歳入予算計上であるかと思われます。

歳出については、総務関係では、地方創生プロジェクト事業でのタチアカネ蕎麦の振興対策、村営バス運営によるサービスの拡充、消防費では、消防団活動費の充実や団員確保のための入団年齢の延長など、団と協力しての検討が進められています。

建設産業関係の農業関係では、中山間地域等直接支払事業や、多面的機能支払事業、水田営農機械導入補助金等、村の主要産業である農業対策や荒廃農地対策が計上されています。

林務関係では、松くい虫防除対策の実施により被害が抑制されていますが、山の荒廃からの災害防止や林産物の恵みなどの観点から、財政は厳しくとも継続を図られています。

商工関係では、今進められている企業誘致や、地域消費券など、青木村商工会との連携を密にし、新型コロナウイルス禍の

中、村の商工業とともに村の活性化が考慮されています。

観光対策では、道の駅や五島慶太未来創造館など村の観光資源を生かした事業を進めていただく予算となっています。

土木関係では、村民からの要望の多い道路維持費関係事業で約4千万円等計上されています。厳しい財政の中ではありますが、地域の要望に添えるような予算執行をお願いします。

住民福祉課関係では、骨格予算ながら全体予算が7%減の27億3200万円となっています

が、民生費は2.5%増の7億632万余円、衛生費も0.4%増の2億3012万余円と、福祉と暮らしに重きを置いた予算となっています。

くつろぎの湯の高圧受電設備更新工事、保健事業・介護予防の一体実施事業へ900万円など村民の健康と命・暮らしを守ることに配慮した予算となっており、高く評価できます。

教育委員会関係では、夫神区公民館改築補助金、文化財保護費から地図に範囲を示すための埋蔵文化財試掘調査委託料、小学校の雨漏り防止工事、中学校のオンライン教材使用料など村や次代を担う子どもたちの将来を見据えた予算と認められます。

新型コロナウイルス禍では

ありますが、自主財源が限られている中、国の交付金や補助金等の財源確保により骨格予算としての実質的な予算編成であり、全般にわたり鋭意精査された適正な予算と認められます。

今後の国の新型コロナウイルス対策に関連した経済対策等の動向を注視され、適正で効果的な予算執行がなされることをお願いし賛成討論とします。



役場に設置された新型コロナワクチン接種コールセンター



誘客が期待される五島慶太未来創造館



コロナウイルスワクチン集団接種が予定されている総合体育館



1、青木村の今後について

松澤 正登 議員



※議員名の下にQRコードの読み込みで、各議員の一般質問音声データにつながります。

第1回 青木村議会定例会 一般質問

1 コロナ感染症に対するワクチン接種について

(問) 65才以上の住民にワクチン希望のアンケート調査が実施されたが、その狙いは。

住民福祉課長答弁

接種会場における所要人数の確保のため。

(問) 接種の時期は。接種は1回に何人くらいを想定しているか。期間はどれくらいか。

住民福祉課長答弁

4月26日の週だ。1回の接種人数は、65才以上高齢者1650人のうち8割が接種すると1320人だ。1回目の接種に1週間を予定している。

(問) 接種を希望しなかった人、受けなかった人への対応は。

住民福祉課長答弁

受けにくいことによる差別等が起らないように人権啓発に努める。

2 マイナンバーカードの普及について

(問) 現況の普及状況と今後の目標は。

住民福祉課長答弁

2月28日時点の交付率は、14・8%だ。国は令和5年度までに100%達成の目標だ。

標だ。村も次の対策に取り組んでいく。

3 青木村消防団の今後について

(問) 消防団の現況をどう見るか。

村長答弁

分団を減らすことで、各地区で活動するのでなく、災害が起こった場合、現場に必要な団員を配置するなど効率的な活動が行えるような対応をしている。

(問) 消防団発展のための施策や、待遇改善の考えは。

総務企画課長答弁

団幹部の皆さんと折に触れて面談し、ともに悩み、課題や問題点を共有している。団員手当、出動手当の倍増、消防団家族向けに地域消費券の配布など考慮している。

4 ゴミ減量の取り組みについて

(問) 「ゴミ分別ポスター」の配布、「村の便利帳」への掲載の考えは。

住民福祉課長答弁

6月をめどに「ゴミ分別ポスター」を全戸配布する。一般家庭ゴミの「分別収集の手引き」はポスター配布後編集に入る。「便利帳」へは検討中。

5 村の財政状況と令和3年度予算について

(問) 現在の財政状況は。

村長答弁

実力は高くないが、健全財政を堅持している。危機感をもって財政運営に努める。

(問) 令和3年度一般会計予算のポイントは。

総務企画課長答弁

基本的には骨格予算だが、長期振興計画、地方創生の総合戦略を策定する経費を盛り込んでいる。

(問) 過疎が進む地域への支援策は。

総務企画課長答弁

毎年各地区からの要望事項を受け、地域の実情など現場を確認させてもらう中で、必要な事項について細かい対応に心がけ実施している。

(問) 新青木トンネル工事の進捗状況は。

村長答弁

工事の着手に向けて実施設計に入ると聞いている。

6 小学校の教育について

(問) プログラミング教育、教科担任制度が打ち出されているが、大きく変わることや取り組みは。

教育長答弁

令和2年度から教科書が新しくなり、学び合いを大切にした学習を展開している。



坂井 弘 議員



1、新型コロナウイルス感染症の感染抑止に向けて 2、健康・福祉政策の方向性 3、青木村農業の展望



2年連続
保・小・中 学校給食費無料に



農地が縮小され造成が進む岡石工業地

1 保育園・小中学校の給食費無償化を継続

(問) 昨年末発生した青木小の集団的感染の総括と教訓は。

教育長答弁

基本的な対応を丁寧に行うことが重要。

(問) 休校方法は適切だったか。

教育長答弁

保健所の指示に従った。

(問) 学級の分散、水道蛇口の自動水栓化を考えるべきだ。

教育長答弁

来年は4年生も少人数授業にする。水道の自動栓については継続して検討する。

(問) 誰もがPCR検査を受けられる体制作りを。

住民福祉課長答弁

保健所見解により断念した。

(問) 保小中の給食費無償化を来年度も継続すべきだ。

村長答弁

第3次地方創生臨時交付金の中で検討している。

(問) 情報通信端末を利用したの換気・体操呼びかけの実施に、3か月も要するのか。

住民福祉課長答弁

換気は冬場のため見合わせた。体操は4月から始める。

(問) ワクチン接種における副反応対応は十分か。

住民福祉課長答弁

救急対応資機材を持参する。救済制度が受けられる。

(問) ワクチン未接種者への人権侵害を防ぐ対策は。

住民福祉課長答弁

差別を助長するような施策は行わない。

2 介護保険料改定を見送る

(問) 村長が3期目の重点政策に掲げる福祉・介護・医療の具体的施策は。

村長答弁

健康づくりを普及し、高齢者の生きがいづくりを進める。

そのために、住民福祉課の体制を拡充する。

(問) 介護保険第8期の保険料改定はしないで済むのか。

住民福祉課長答弁

第7期と同じ月額で続けていけると判断した。重度化予防に取り組んだ成果だ。

(問) 子ども医療費受給者負担を撤廃する時期にきている。

村長答弁

ペナルティーが課せられる。

村長反問

要望の優先順位ならびに財源確保の方法は。

坂井議員答弁

要求の優劣を議員がつけるものではない。財源は、地方創生臨時交付金、不要不急の事業の見直し、財源確保事業

の活用による。

(問) 高齢者への補聴器購入助成がでないか。

村長答弁

必要性はわかるが、今後の検討課題とする。

3 家族農業を支援し、青木村らしい農業政策を

(問) 主食米の耕作面積が縮小していることをどう考えるか。

農林建設課長答弁

村の産業全体を見据えて事業を進めたい。

(問) 米の転作ローテーションを見直す考えはないか。

農林建設課長答弁

研究課題としたい。

(問) 適地適合品種の生産方式にすることは考えられないか。

村長答弁

土地への愛着が強く、合意形成、ルール作りが課題だ。

(問) 村の農業経営の展望は。

村長答弁

企業的な経営感覚、農業経営者の確保・育成、高齢者による少量多品種・新鮮農産物の生産活動を盛り上げたい。

(問) 有機農法やはず掛け米などをブランド化する考えは。

村長答弁

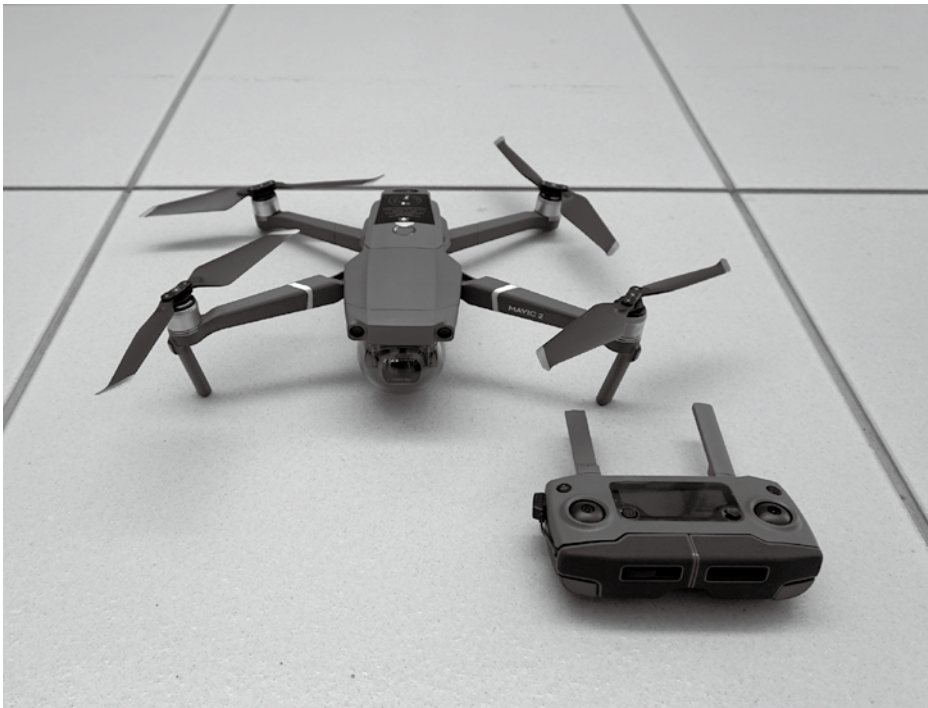
手間暇かけ、安全な農作物を作ること、村の活性化につながる。



山本 悟 議員



- 1、国道143青木峠バイパスの進捗状況について
- 2、水空両用ドローンの利活用について
- 3、住んでよかったと思える青木村を
目指して



役場に配備しているドローン(空用)

1 国道143青木峠バイパスの進捗状況について

(問) 本問題については23年前、前村長宮原毅様に伺った経緯があり、当村にとってはハード面で特に重要課題だと思うので、あえて質問する。かつては、県下縦断駅伝の通った峠であり、中京、阪神への菅平・婦恋方面からの野菜の運搬道として利用された。定期バスも行き交っていたと記憶している。

私ども村民は、長い間143の期成同盟会の運動をしてまいったが、諦めムードが漂っていたかなと思う。合併前の小県郡の議員大会でも、村の総意として早期完成を願いつつ発表した記憶がある。村は合併することなく、北村村長を迎えた。期成同盟会の組織や目的、やり方について考え、看板、垂れ幕も作り、村民会議を創設して沿線市村・議会への働きかけ等々を行ってきた。

村長答弁

8年前に、私は政治生命をかけ、意気込みを示すため、自らはもちろん村民の皆様の意識やとらえ方を変えるべく、看板や垂れ幕を要所に掲げた。安曇野地域の企業、団

体を回ったり沿線の市村や議会等の力添えをいただいたりして、昨年度事業着手にこぎつけた。用地交渉、残土置場の設定、国土強靱化計画の行方に注視しつつ、コロナ禍の中ではあるが、県と同じく青木峠の早期実現に鋭意取り組んでまいりたい。

2 水空両用ドローンの利活用について

(問) ドローンの発展はめざましく、村内には河川、農業用ため池、山火事等考えられるが、運用の際の免許、事故等について伺う。

村長答弁

既に村では一機保有し、職員等により、人の行きにくい場所や河川、ため池等で多く利用している。水上はこれからだが、事故等、法整備を念頭に運用する。

3 住んでよかったと思える青木村を目指して

(問) 少し古い話だが、青木村は宝島社による「田舎暮らし」の本2016年第4回日本

住んでみたい田舎ベストランキング村部門第1位に輝いた。特筆事項として、コロナ禍やテレワークの影響もあって、転出が転入を上回ったそう

村長答弁

社会増減は、2桁だったと記憶している。今期限りで勇退のことだが、86回、228回と驚異的な数字であり、村のために尽くされた議会活動にお礼申し上げる。

私事だが、約24年間、96回の質問の機会があった。最初の先輩議員の言動による1回、議長を仰せつかった2年8回、および、ドクターストップのかかった令和元年12月の1回を除く、86回・228回の質問をさせていただいた。村民総意で平成の大合併にくみすることなく、自立の道を選び議会事務局設置条例・庶務規定を作り、温泉権の取り決め、議会だよりの発行、村づくり懇談会の開催、一問一答方式の採用、議会棟における質問席の新設、議会基本条例の制定と施行を行ってきた。目線は、村長も職員も同じ目的、住民福祉の向上と安定を願って、立場の違いを越えて、目標に向かって努力した。独任制の村長部局と合議制の村会では違いますが、今後共、一村民として協力を惜しまない。長い間、真摯に対応していただき、感謝する。



金井 とも子 議員



1、青木村の男女共同参画について 2、資源ごみ等の集積所の設置について



大量の資源ゴミ

1 青木村の男女共同参画について

(問) 令和2年3月に策定した第4次青木村男女共同参画計画の周知の方法は。

住民福祉課長答弁

ホームページに全文アップした。また、「広報あおき」に年3回のペースで掲載している。

(問) 役場職員の年度当初の女性職員採用は。

村長答弁

5年間のトータルでは、13名のうち女性は10名で76.9%になっている。

(問) 村職員において、女性の指導的地位(管理職)への採用目標は、平成30年12月議会では1/3だったが、現在の状況は。

女性管理職を増やすための考えは。

村長答弁

管理職8名中、女性1名で12.5%だ。今後30・40代の上を目指しての業務、研修等を通して、女性職員のスキルアップに期待している。

(問) 当村での、各審議会委員等への女性の登用の割合は。

村長答弁

35の委員会等調べた結果、28・1%であった。

(問) 男女共同参画社会推進のための教育的配慮や取り組みは。

教育長答弁

男女の性差だけでなく、人としてのあり方に関わる問題なので、人権意識を高める学習をしている。

(問) 男女共同参画の具体的施策や計画していることは。

住民福祉課長答弁

女性団体連絡会等の講座や講演会等に積極的に協力していく。男性の意識改革も必要で、公民館とも協力連携をする。

(問) 女性に配慮する災害時対応は。

総務企画課長答弁

授乳室整備、プライバシーの保護等、コロナ対策も含め、パーテーション、粉ミルク、離乳食、生理用品等も整備。消防委員に女性を登用した。

(問) DV、ハラスメント等の相談は。相談窓口は。

住民福祉課長答弁

1件あった。相談窓口は福祉係にある。

村内では相談しにくい場合に、長野県女性相談センター、性暴力被害者センター等相談機関の存在を周知したい。

(問) 村長の3期目に向けての

施策は。

互いに尊重し合い安心して暮らせる環境づくりなどへ配慮する。

2 資源ごみ等の集積所の設置について

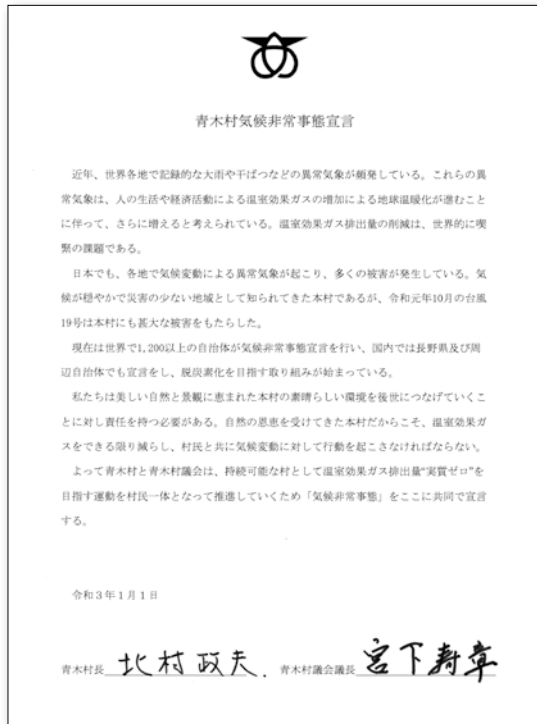
(問) 資源ごみについては、毎月第2土曜日の午前6時半から8時の間に指定された公民館等に出すが、月に1回のため都合が悪く出せないことがある。ビッグや、カインズホームなどでは、いつでも出せる集積所を設置している。便利なので村にも、いつでも出せる屋根付きの集積所を1か所設置してほしい。

また、村内に排出できるところがない発泡スチロールのトレイや牛乳パック、ペットボトルなどは、村外のスーパーマーケットに出すが、村内に集積所があればと考えるがいかがか。

住民福祉課長答弁

集積所があると便利であるかとは思。上田市では、ウイークエンド回収をスーパーの駐車場で実施しているが課題がある。すぐに結論の出せない問題であるのでもう少し研究したい。

宮入 隆通 議員

1、新型コロナウイルス対策について
2、脱炭素社会に向けて

温室効果ガス排出量実質ゼロを目指して青木村と村議会が共同で「気候非常事態」を宣言した

1 新型コロナウイルス対策について

(問) 小・中学校への対応は。
教育長答弁

安心や安全に配慮した対応を一つ一つ確認し、徹底して行っている。

(問) 保育園の状況は。
保育園長答弁

換気対策・手洗・消毒の実施・できる限りのマスクの着用・全体集会等の縮小により、感染の予防に努めている。

(問) 一律にマスク着用ではなく、場面に応じた指導を。
教育長答弁

マスク着用は大変重要だと考えている。場面に応じてだが、できるだけ着用する努力をしてもらっている。

(問) 商工観光関連の状況は。
商工観光移住課長答弁

持続化給付金を受給した旅館及び飲食店は、15件と承知している。令和2年3月から12月の村内宿泊施設からの入湯税の支払額は、前年比で5割程度の状況だ。

(問) ほかの自治体では、役場で飲食店の弁当を買上げて販売し、困難を乗り越えようという動きがあるが。
商工観光移住課長答弁

観光業や飲食業については、国や村独自の持続化給

付金や融資制度による支援、地域消費券の発行、県や国の支援事業などを取り組んでいる。テイクアウトやデリバリーの強化など新たな需要について、様々な方策も講じながら苦境を乗り越えたい。

(問) 農業者への対応は。
建設農林課長答弁

村独自の支援策として、農業者応援給付金事業で販売農家一戸当たり3万円の給付事業、また、認定農業者には経営応援交付金を創設した。

(問) 青木村としての方向性について。
村長答弁

この感染症を撲滅するには年単位の時間がかかると思う。また、全人類が7割程度ワクチン接種できるのは、今の段階では見通せない。今後、ワクチンの接種について診療所や医師会などと連携を取りながら、ハード面、ソフト面でコロナ対策を実施していく。

行政としては公平に平等に支援していく。コロナに関する情報は、村民の皆さんに早急に提供していきたい。100年に一度のこの危機を乗り越

切っていかなければならない。

喫緊の課題として、ワクチン

を具体的にどのように接種するのか、65歳以上は一定の方向が見えてきた。ワクチン接種の情報を早く伝え、希望する全村民に早く接種できるようにしたい。もう一つは、ワクチン接種の差別がないようにしたい。大変難しい課題だが、緊張感を持ってこの場面を乗り越えたい。

2 脱炭素社会に向けて

(問) 村議会と共に共同で気候非常事態宣言を行った村としての考えは。
村長答弁

世界では様々な異常気象が観測されており、気候危機の状態だと考える。村議会とともに気候非常事態宣言を行うことができ、青木村にとっても大きな一歩を踏み出した。

(問) 今後の青木村の脱炭素社会に向けての課題は。
村長答弁

省エネルギー化・再生エネルギーの活用・カーボンリサイクルなどを行い、脱炭素社会をつくり、地球のエネルギーの自給の効率の向上を目指し、雇用の創出をして、持続可能な発展を支えるということを目指していきたい。

あ 会 の 動 き 議



令和3年第1回定例議会

上田地域広域連合議会 令和3年2月定例会

令和3年2月定例議会が2月22日から25日までの会期にて開催されました。

始めに、東御市議会の改選による選出議員の変更と常任委員選任の報告がありました。

議事に入り、令和2年度一般会計、ふるさと基金特別会計、介護保険特別会計、消防特別会計の補正予算と、令和3年度予算についても同4案件について提案されました。各案件について総務常任委員会と保健福祉常任委員会にて審議された後、本会議にて全議案とも可決成立しました。

一般質問には、3議員より救急搬送について、資源循環型施設建設について、介護認定と産婦人科の対応について質疑がありました。

閉会中の継続審査では、広域行政の推進に関する事務について、広域的な幹線道路ネットワーク・計画の策定等、当広域連合の現状に関する議案立案・審査等に対応する多くの議案が取り上げられております。いずれも令和3年10月議会まで

継続となりました。

(宮下壽章)

青木村及び上田市 共有財産組合議定会 例会

2月22日、令和3年第1回定例会が開催されました。

提案された案件は、令和2年度補正予算として、予定していた間伐事業の減により歳入歳出117万1千円を減額し、総額1316万3千円とするものと、令和3年度当初予算で、歳入歳出248万8千円とするものです。事業の概要は、歳入では県支出金と立木売却収入が主な財源で、歳出では間伐・除伐・植栽事業と、今年度は皆伐事業が実施されるもので、全会一致にて原案どおり可決されました。

続いて、事務局より平成28年度～令和2年度までの5ヵ年計画の森林造成事業実績について、計画された面積の85%実施状況との説明がありました。また、新たに令和3年度～7年度までの5ヵ年計画では、各種森林造成事業173haの実施計画案が示され承認されました。

(沓掛計三)

2月

- 5日 / 上田地域広域連合議会代表者会議(議長)
- 22日 / 上田地域広域連合議会定例会(正副議長)
- 24日 / 例月監査(監査委員)
- 24日 / 青木村及び上田市共有財産組合議会(財産組合議会議員)
- 25日 / 上田地域広域連合議会定例会(正副議長)
- 26日 / 議会運営委員会(議会運営委員)

3月

- 5日 / 第1回定例議会
- 10日 / 議会一般質問
- 12日 / 委員会審議(社会文教委員会)
- 15日 / 委員会審議(総務建設産業委員会)
- 17日 / 中学校卒業式(議長)
- 18日 / 小学校卒業式(議長)
- 19日 / 議会審議採決
- 19日 / 全員協議会
- 19日 / 議会報編集委員会(議会報編集委員)
- 20日 / 保育園卒園式(議長)
- 30日 / 例月監査(監査委員)

議会日誌

4月

- 2日 / 保育園入園式(議長)
- 6日 / 小・中学校入学式(議長)
- 7日 / 議会報編集委員会(議会報編集委員)
- 15日 / 議会報編集委員会(議会報編集委員)
- 27日 / 全員協議会

5月 今後の予定

- 7日 / 臨時議会
- 19日 / 正副議長研修会(正副議長)
- 24日 / 上田地域広域連合議会臨時会(正副議長)



住民の声



今「人権」を考える

宮入 典子

議会の皆様には、村の発展のためにご尽力いただき感謝申し上げます。私は人権擁護委員を拝命し、活動しています。村の心配事相談を担当させていただいていますが相談件数が少なく残念に思っています。「相談が少ないのは何も心配事が無いのだから良い事だ」とおっしゃる方もおられますが、私が心配な事は本当に何も心配事がないのか、あっても声を上げる事ができないのか、あまりにも日常的で「これが私の人権を侵している」と気がつかないでいるのではないかとこの事です。

昨年からの新型コロナウイルス感染症の発生によって、感染者に対する誹謗中傷や家庭内の暴力(DV)、学校でのいじめ等々人権侵害と思われる事件が報道されています。とても残念な事です。人権という堅苦しくて難しい事に感じてしまいましたが、誰でも相手の気持ちを思いやる優しい気持ちで人権を守る事なのだと思います。

さて一昨年、村の男女共同参画行動計画の策定に関わらせていただきました。その時、村民の意識調査の結果をお聞きしました。その中では、社会通念や慣習、政治・経済活動で男性が優遇されていると6割位の人が答え、男も女も共に働き家事・育児・介護もするべきと答えた人が男女共に4割・5割でした。昔からの通念で、家庭の中でも地域でも、男が主、女が従ではなく、互いに持っている力が発揮できる事が、お互いの人権を守る事ではないでしょうか。

私の家庭でも夫婦共に高齢者の仲間入りをし、互いの健康を気遣いながら自立して生きよう、お互いの人権を守る生活をしていきたいと思っています。

編集後記

まもなく、村議会議員の4年の任期が終わろうとしております。この青木村議会だよりが皆様のお手元に届く頃には、新しい村議会議員が誕生しております。4年前には議員各々が4年間の活動に向けて公約を掲げて、実行してきたところでありました。青木村の発展のため、村民の皆様のお役に立つよう活動してきたつもりです。評価については、村民の皆様の判断に委ねるものです。

台風19号による災害、大雪、大雨等による自然災害が多発しております。地球温暖化の影響が見られ、脱炭素社会に向けて、国の方針で2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを掲げております。自動車はエンジン車から電動車に変わろうとしております。再生可能エネルギーの導入拡大の動きも活発であります。コロナ禍も未だに収まる気配がありません。

人口減少社会や経済のグローバル化等の激動の世の中をたくましく生き抜くために、今こそ見せましょう、「住民ファースト」の視点で知恵と協働で助け合っていくことを！

議会報編集委員会

委員長 坂井 弘
副委員長 宮入 隆通
委員 松澤 正登
金井 とも子
沓掛 計三
居鶴 貞美



この印刷物は、植物性インキおよび再生紙を使用しています。